

あとがき

本報告書は、二〇一八年度大阪府立大学大学院文学研究科・都市文化研究センター「研究科プロジェクト」に採択された課題「日本文学を世界文学として読む」の研究成果をとりまとめ、刊行するものである。研究メンバーは、別頁「研究メンバー一覧」の九名からなる。

日本文学と外国文学との関わりは、古代における中国、朝鮮半島からの漢字、漢文の受容から始まり、現在は制作、享受など多方面にわたり広く世界におよんでいる。日本文学における、中国文学の受容は、その権威を認めながらも、選択、変容をともなう創造的な営為として、古代、中古から中世を経て近世に至るまで熱心に続けられた。近代以降は、欧米諸国の文学が取り入れられ、日本文学の文体、表現などに革新をもたらした。加えて、日本文学が外国語に翻訳されるようになり、近代以前の受容という関係ばかりではなく、発信という方向でも、日本文学は外国文学と関わるようになった。

以上のような日本文学と外国文学との密接な関わりをふまえ、今日、各時代の日本文学作品について、比較文学研究、翻訳研究などが積み重ねられている。また、欧米諸国では、日本文化を総合的に理解しようとする「日本研究（地域研究）」において文学作品が取り上げられる。特に、比較文学研究では、国文学あるいは外国文学という、ひとつの言語や国の文学として作品を読むのではなく、「世界文学」のひとつとして作品を読み、作品の普遍的な意味や価値が考察されるようになってきている。

本研究は、日本文学を「世界文学」として多角的に考察し、日本文学

作品を詳しく正確に読み、加えて新たな研究方法、研究領域を探究した。

この共同研究により、日本文学の「世界文学」における位置づけ、評価を検討し、文学史や作品論に補足と訂正を迫り、作品の新たな価値を提示することを目標とした。その際、比較文学による日本文学研究に先鞭をつけた小島憲之氏の学統を受け継ぐ本学と、多彩な日本文学関連図書を所蔵し、アメリカの日本文学研究を牽引するイリノイ大学との交流を、研究の一つの軸とすることにより、相互の研究で蓄積された知見を集約し、研究期間内に独自の成果を得ることを目指した。

具体的には以下のとおり全3回のプロジェクト研究会および本学とイリノイ大学との間でメンバーが相互に訪問する機会を設けて、関心を共有し、研究を深めていった。

第1回 11/12

永井泉「片山廣子とクリステイナ・ロセッティ―童謡集『シング・ソング』の受容について―」

山本真由子「平安朝における和歌と漢詩―イリノイ大学和歌ワークショップの報告を兼ねて―」

第2回 1/24

堀まどか「世界文学と「地方」―野口米次郎とシカゴの詩雑誌『ポエトリ』―」

高島葉子「口承文芸における英雄像の比較試論―古代ギリシヤ、日本、アイヌ―」

第3回 3/8

〔講演〕溝渕園子氏（広島大学大学院文学研究科教授）

「日本近代文学史から見る「世界文学」の射程―芥川とロシア文学との関わりを端緒として―」

大坪亮介 『太平記』 引用説話の典拠と文脈」

奥野久美子 「芥川龍之介「秋山図」など―世界文学としての芥川作品―」

◇二〇一八年七月二十五日に、イリノイ大学からTiemey氏、Persinai氏を本学に迎えて、打ち合わせ会議を行い、研究の進め方を決定した。
◇二〇一八年八月十六日～十八日には、Persinai氏の企画、運営でイリノイ大学で行われた和歌ワークショップXにおいて、同氏、Tiemey氏、山本が研究発表を行った。

また、学術情報総合センターに於ける企画展示「日本文学を世界文学として読む」(12/3～1/31)を開催し、展示解題を制作して、本研究プロジェクトの成果を広く一般に公開した。本年度は、シンポジウムの開催にはいたらなかったが、それぞれに研究方法、研究対象について、新たな知見を得ることができ、イリノイ大学との研究交流についても発展する余地を残しているため、今後の課題としたい。

なお、本研究は、平成二十九年度にイリノイ大学 CEAPS と都市文化研究センターとの共催で行われた、「2018 Exchange Symposium ― Focus on Japanese Literature」(二〇一八年三月六日)の成果をふまえて企画したものである。開催に「尽力いただいた両大学の関係者各位に深く感謝申し上げます。

(山本真由子)

研究メンバー一覧

山本 真由子 (やまもと・まゆこ)

大阪市立大学大学院文学研究科講師。専門は平安朝文学(特に漢詩文と和歌)。

論文に『順集』の「うたの序」―源順における和歌序と詩序―(『国語国文』第八十二巻第六号、二〇一三年)、「源道済の詠紅葉蘆花の和歌と序をめぐって」(『国語国文』第八十六巻第四号、二〇一七年)などがある。

高島 葉子 (たかしま・ようこ)

大阪市立大学大学院文学研究科教授。専門は比較説話学、比較文化学。論文に「アイヌとケルトの異類婚姻譚―カムイと人の婚姻と妖精と人の婚姻」(『説話・伝承学』第一四号、二〇〇六年)、「少年英雄の出生に関する条件―日本昔話の英雄譚とアイヌの英雄叙事詩の比較考察」(『The Asian Folk Narrative Society 第14回国際シンポジウム大会論文集』二〇一六年)、「Successful Marriages between *Kamiy* and Humans in Ainu Folktales: A Comparison with Animal-Human Marriages in Northern Peoples' Tales, "Comparative Culture No. 124, 2016」などがある。

奥野 久美子 (おくの・くみこ)

大阪市立大学大学院文学研究科准教授。専門は日本近代文学。著書に『芥川作品の方法―紫檀の机から―』(和泉書院、二〇〇九年)、論文「芥川龍之介「山嶋」―原稿・草稿からの考察―」(『国語国文』第八十八巻第二号、二〇一九年)などがある。

堀 まどか (ほり・まどか)

大阪市立大学大学院アジア都市文化学准教授。専門は国際日本学、比較文化学。

著書に『「二重国籍」詩人 野口米次郎』(名古屋大学出版会、二〇一二年)、『近代日本とフランス象徴主義』(共著、水声社、二〇一六年) などがある。

大坪 亮介 (おおつほ・りょうすけ)

大阪市立大学非常勤講師・UCRC 研究員。専門は日本中世文学、軍記物語。

論文に「天正本『太平記』巻四「呉越戦事」の増補傾向―姑蘇城・姑蘇台と西施の記述を端緒として―」(『文学史研究』第五十八巻、二〇一八年)、『明德記』における山名氏清と新田義貞―朝敵認定との関わり―」(『国語国文』第八十五巻第三号、二〇一六年) などがある。

永井 泉 (ながい・いずみ)

大阪市立大学大学院後期博士課程、大阪市立大学UCRC 特別研究員。専門は日本近代文学。

論文に「片山廣子の短歌に詠まれた『魔』―第一歌集『翡翠』刊行までの短歌について―」(『文学史研究』第五十九号、二〇一九年)、「北原白秋の『科学的童謡』にみられるマザーグースの影響」(『マザーグース研究』第九号、二〇一〇年)、「児童詩の本」(『赤い鳥事典』柏書房、二〇一八年) などがある。

劉 娟 (りゅう・けん LIU JUAN)

大阪市立大学大学院博士後期課程、大阪市立大学UCRC 特別研究員。専門は堀辰雄研究。

論文に「芥川龍之介「パステルの龍」―「西洋」のフィルターを通じた「東洋」(『芥川龍之介研究』第一二号、二〇一八年) などがある。

Robert Thomas Tierney

イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (University of Illinois at Urbana-Champaign) 東アジア言語文化学科 (East Asian Languages and Cultures) および世界比較文学科 (Comparative and World Literatures) 日本文学、教授。現在は、中江兆民の後期著作の研究に取り組む。

近年の業績に『*Monster of the Twentieth Century: Kōtoku Shūsui and Japan's First Anti-Imperialist Movement*, Berkeley: University of California Press, 2015. や『*Tropics of Savagery: the Culture of Japanese Empire in Comparative Frame*, University of California Press, 2010. および『*Othello in Tokyo: Performing Race and Empire in Early Twentieth Century Japan*, "Shakespeare Quarterly" 62 (4), December 2011. などがある。

Gian Piero Persiani

イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校東アジア言語文化学科、日本文学、講師。専門は日本中古文学、和漢比較文学。

近年の業績に『*China as Self, China as Other: On Ki no Tsurayuki's Use of the wa-kan Dichotomy*, "Sino-Japanese Studies" vol. 23, 2016. がある。

「研究科プロジェクト」成果報告書
『日本文学を世界文学として読む』

平成三十一年（二〇一九）三月三十一日発行

編集 山本 真由子

発行 大阪市立大学大学院文学研究科
都市文化研究センター

〒五五八―八五八五

大阪市住吉区杉本三―三―一三八

電話〇六―六六〇五―三一―一四

印刷 博進印刷株式会社

〒五五九―〇〇〇二

大阪市住之江区浜口東二―七―二四
